



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

93.9.13 No. 3856

「12.1ダイ改」阻止闘争に！ 総決起しよう！

JR東日本の「12.1ダイ改」が、「要員不増の時短」、「55才到達者の激増に対応する要員合理化」、安全対策等々の面で重大な問題を内包していることについては、すでに明らかにした通りです。

まさに、「合理化に次ぐ合理化」であり、現職死亡、殉職が多発する中で、さらに徹底的に労働条件を悪化させるダイ改に對して、全ての国鉄・JR労働者・労働組合が、今後の生き様を問われていると言っても決して過言ではありません。

厳しい93秋年闘争情勢

また、バブル崩壊に加え台風、地震で痛めつけられた貨物会社の経営悪化は深刻であり、社長を本部長とする「緊急経営施策推進本部」を発足させ、基地統廃合や工場移転等も含むあらゆる合理化計画を前倒しで強行しようとしています。当面、年末手当の格差問題と動乗勤改善提案が焦点となります。

そして、清算事業団1047名の中労委救済命令をめぐる闘い、さらには、「小選挙区制」

等の国会情勢も秋から年末へ向けて激動化が必至です。

このように、93年秋から冬へ、われわれは、「60才まで働ける労働条件の確立」へ向けた闘いの大きな山場に差ししかかろうとしています。

JR東日本、JR貨物、清算事業団の闘いを結合させた大きな

セク特的生き残りのために殺人的労働強化の先兵となるJR東労

同時に、われわれは、JR総連・革マルが、またしても国鉄労働者の労働条件を敵に売り渡す先兵となろうとしていることを徹底的に暴露して糾弾しなければなりません。

JR東労組は、93秋年闘争の最大の焦点となるJR東日本の「12.1ダイ改」のそのまた焦点となる乗務員勤務について改善要求を出しました。

われわれが、ストライキをかけて闘った動乗勤の全く同じ問題について、スト破りをやっただけで改善要求を出さない

な高揚を勝ちとり、強制配転・塩漬け解消など懸案問題の解決を図るために、われわれは、職場討議を深め、第二〇回定期大会で徹底した討論を展開し、全国鉄・JR労働者の決起を創り出す闘いに、全力をあげなければなりません。

ど笑止のさたですが、それ程職場の不満が強いということと、その不満をそらすことを通して「12.1ダイ改」阻止闘争全体を空洞化させ、JR東日本一部経営中枢への癒着を深めることをもってセク特的生き残りを図ろうとしているのです。

われわれは、会社当局の殺人的労働強化攻撃とその先兵JR総連・革マルのセク特的生き残りを串刺しにして粉砕する闘いとして、「12.1ダイ改」阻止闘争に決起していかなくてはなりません。

第二〇回定期大会(九月二十五日)の成功を